

# 令和4年度全国学力・学習状況調査における

## 北九州市立 青葉 小学校の結果分析と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和4年4月19日(火)に、6年生を対象として、「教科(国語、算数、理科)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にさせていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

### 1. 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

### 2. 調査内容

- (1) 教科に関する調査(国語、算数、理科)

#### 教科に関する調査(国語、算数、理科)

- ①身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ②知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

※調査では、上記①と②を一体的に問うこととする。

- (2) 児童質問紙調査

#### 児童質問紙調査

- 学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査

### 3. 教科に関する調査結果の概要

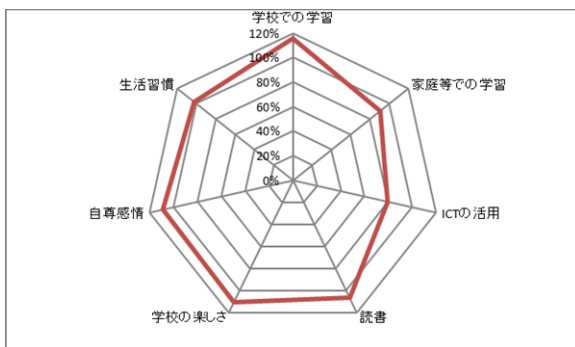
#### (1) 全国・本市の学力調査(国語、算数、理科)の結果

本年度の結果	国語		算数		理科	
	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率	平均正答数	平均正答率
本市	8.9	64	9.8	61	10.4	61
全国	9.2	66	10.1	63	10.8	63

#### (2) 本校の学力調査結果の分析

国語	全体的な傾向や特徴など	思考力、判断力、表現力等を問う内容(話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと)においては、全ての区分で上回っている。しかし、知識及び技能を問う内容(言葉の特徴や使い方に関する事項、我が国の言語文化に関する事項)においては、下回っている。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よってきた問題	文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける。(思考・判断・表現・記述式)	
	努力が必要な問題	言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える。(知識・技能・選択式)	
算数	全体的な傾向や特徴など	数と計算、データの活用については、上回っている。しかし、図形、変化と関係については、下回っている。	全国平均正答率との比較 同程度である
	よってきた問題	目的に応じて円グラフを選択し、必要な情報を読み取ることができる。(知識・技能・選択式)	
	努力が必要な問題	正三角形の意味や性質を基に、回転の大きさとしての角の大きさに着目し、正三角形の構成の仕方について考察し、記述できる。(思考・判断・表現・記述式)	
理科	全体的な傾向や特徴など	「エネルギー」を柱とする領域、「地球」を柱とする領域においては、上回っている。しかし、「粒子」を柱とする領域、「生命」を柱とする領域においては、下回っている。	全国平均正答率との比較 上回っている
	よってきた問題	実験で得た結果を、問題の視点で分析して、解釈し、自分の考えをもち、その内容を記述できる。(思考・判断・表現・記述式)	
	努力が必要な問題	観察などで得た結果を、他者の気付きの視点で分析して、解釈し、自分の考えをもつことができる。(思考・判断・表現・選択式)	

### 4. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいました。」</li> <li>・「各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていました。」</li> <li>・「自分の思いや考えをもとに、作品や作文など新しいものを創り出す活動を行っていました。」</li> <li>・「PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。」</li> </ul> <p>に関しては上回っていたので、今後も各教科において自分の考えをまとめる取組を継続していきたい。</p> <p>・「PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか。」に関しては、ICTの活用の中でも大きく下回っているので、学校教育全体を通してICT機器を積極的に活用していく必要がある。</p>

### 5. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

#### ① 教科に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「学びの質を高める授業」づくりの5つのポイントを基に、「問いと気付きを促す発問」「考えを深める話し合う活動と書く活動」に力を入れた授業づくりに努める。</li> <li>・学習活動にICT機器を取り入れる。</li> </ul>
--

#### ② 家庭生活習慣等に関する取組

<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習の習慣を徹底するために、自主学習の推進を実施する。そのために、「家庭学習の手引き」などを参考にしながら本校の取り組み方を確認し、各家庭に啓発活動を実施する。</li> </ul>
---